



森ボラ 通信

第233号 2021年10月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 第4回親子森林教室活動報告

野幌森林公園で「森しり隊植樹祭」を開催！



みんなで植樹した森は「親子の森」と命名しました

モキしましたが、何とか当日は天気もまずまずでした。長い緊急事態宣言がやっと10月1日に全国一斉に解除され、晴れ晴れした気持ちで当日を迎えました。

今回の参加人数は隊員13名、保護者等14名が参加し、来賓2名、協会員23名で合計52名となりました。（当初は60名を超える参加予定でしたが、前日の2日に計画していた札幌市内小学校の運動会が雨天で3日に順延となったために急遽欠席者が多数出てしまいました。

10時より開会式が始まり、樞棒代表幹事の挨拶後、この道有林を管轄し植樹祭の後援を頂いている北海道空知総合振興局森林室の工藤室長から挨拶があり、この土地の歴史変遷の話を伺いました。それによると開拓時代に農地として開墾したが、水利その他でうまくいかず、目的を木材生産に変更、針葉樹を植林した。その後2018年の台風で大量の風倒木の被害が発生したが、針葉樹を再植樹することは止め、落葉広葉樹を含めた針広混交林の森に戻ることになったとのこと。

その後、大窪協会員より今日の作業手順について実技で説明があり、ラジオ体操の後、作業を開始しました。今回の作業単位は親子毎で、内容は予め設置された防草シート（20カ所）に親子で8本の植樹をし、植樹後はシート（3m×3m）周辺に約2mのポール4本を立て、食害防止ネットを張り巡らしました。今回の防草シート、食害防止ネットの採用は昨年を引き続きということですが、シート上に如何に8本の稚樹を均等に且スムーズに植樹



親子で力を合せて8本の苗木を植えました

するかについての手順・工夫は良く考えられており、初体験の私には驚きでした。稚樹の順調な生長に向けての試行錯誤と進化はこれからも続くのでしょうか。今回は30種類の落葉広葉樹を主体とした160本の苗木を8本ずつ、20カ所に分けて植樹しました。これからの生長が楽しみです。

午前中に植樹を終え、昼飯。広々とした野外で、色んな草が生え均されていないでこぼこの地面に腰を下ろし、作業で流した汗を拭いながら食べる飯は最高。食事を終えた子供たちは早くも活動を開始しブランコ遊びに興じる。2本の高い樹木の間にも吊るした廃タイヤを利用したブランコ。ブランコの径が長い為、揺れも長く気持ちよさそうでした。

ブランコ遊びもソコソコに次の始まりです。松藤協会員が水と土の保全にとって森林が如何に役に立っているかを実験して見せます。二つの発泡スチロールの箱。一つは腐葉土に木の生えたもの、もう一つは土のみの裸土、両方を傾けジョウロで水をかける。結果の違いは手品の様にあからさま。裸の方は表面を濁った水が流れ落ちる。木の生えた方は表面を流れる水は無く暫く経つと箱の下の横穴より透明な水が出てくる。つまり森林は保水機能と水の浄化機能があるということでした。

次は“きこりタイムトライアル”です。親子で丸太切りに挑戦。1分毎に選手交代。直径25cmほどの丸太を「よーいどん」で3組が同時に切り始める。コツは刃を長く使うこと、引くときに切れることを意識すること、真っ直ぐに引くこと（切れている溝に合わせて引く）の三つ。競争となると自然、熱が入り声援も。又、コツも解ってくる。刃物を使うのは楽しい。



よーいどんで“きこりタイムトライアル”

その後は酒井さんが現地の林を例に取りながら天然林と人工林の違いの説明をしました。天然林では倒れた樹木が森林の更新と循環にとって如何に大事か、又、今話題のSDGsを考える時、木材を使ったバイオマス発電は森林を循環させるという観点からも非常に意義があること、豆知識として灯油1Lと薪4Kgが同量のエネルギーを持つこと、北海道の一人当たりのエネルギー消費量は東京に比べ1.3倍(冬の暖房の為)であること等興味深い話が聞けました。終了予定の午後2時半を越え終礼して解散。充実した1日でした。この日まで種々検討し、準備を進めた協会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

◆ 支笏湖周辺の2021活動報告

今年も新型コロナウイルスの影響により宿泊を伴い、長時間の車での移動を避けることから、支笏湖周辺の活動を自粛してきましたが、落ち着きを見せてきた10月より日帰りでの活動を再開しましたので、最近の様子を報告します。

【支笏湖ぶんぶんの森】

ここは2009年から北海道新聞の支援を受けて植樹指導、育林活動を行ってきました。しかし、植



3者協議の様子

樹したトドマツよりも周辺の母樹から自生したカラマツが成長し、トドマツが衰退してきました。9月16日に胆振東部森林管理署、北海道新聞社、当会の関係者が集まり今後の育林活動の方針を相談し、基本的にカラマツの成長を見守ることとなりました。当会の提案により試験列を作り除伐の効果を確認することは認められました。次年度以降は試験列の設定、生長調査、除伐、効果の確認などの活動を行う予定です。

【CGC 水明郷の森】

ここは2009年に石狩森林管理署と(株)北海道シジシーとが育林活動の協定を結び、当協会は同年に覚書を交わし植樹支援、下草刈りなどの育林活動を行ってきました。2019年から森林・山村多面的機能発揮対策として林野庁の交付金を受け、動物の食害を受けて壊滅状態の広葉樹列にトドマツを補植しています。

10月1,7日にはコロナの影響もあり手入れをしていない植栽予定地の笹刈りおよび最近補植した列の下草刈りを行いました。10月12日には爽快な秋空の下でトドマツ300本の補植をして今年の活動を終えました。次年度以降も下草刈り、生長調査を継続する予定です。



トドマツの補植作業

【CGC 烏柵舞の森】

ここは2011年に石狩森林管理署と株北海道シジシーとが育林活動の協定を結び、当協会は覚書を交わし2012年から育林活動に携わることとなりました。



チャランケの丘の成長したアカエゾマツ

10月1日に会員4名で中央作業道の草刈りと最近植栽した1,2,3区外周道路沿いの下草刈りを行いました。また、チャランケの丘周辺に植えられたアカエゾマツが樹高5mを超える生長を見せていました。次年度は下草刈り、生長調査を行い動物の食害により生長が芳しくない広葉樹列の対応を検討する予定です。

支笏湖周辺の活動地は以上の他に「協会独自の復興の森」、「コンサの森」がありますが、今年は現地を訪れることはできませんでした。来年はコロナの影響も無くゆっくり楽しみながら育林活動をしたいと思えます。(文・樫棒)

■ 取り組もう

「脱炭素社会」の実現に向けて森ボラは次のことを取り組もうと10月幹事会で確認しました。

- ① 我々は活動の中で多くのプラスチック製品を使っています。そこで、これらの機材を「脱プラスチック化できないか」を意識して徐々に減らす努力をしていきましょう！
- ② 日々の活動をしていて、森の中でもよく「ビニールテープ・プラスチックゴミ」が落ちているのを見かけます。みなさん見過ごしていませんか？ ご自宅で余っているレジ袋を常に携帯して目についたゴミを拾うことにしましょう！

■ 澄川の自然 26

ヌルデ (ウルシ科)

広場のすぐ横、苗畑の中にコブニレと一緒に生えていて、2本とも植えた訳でもないのにすくすくと育っています。

北海道ではツタウルシ、ヤマウルシ(木ウルシ)、ヌルデの3種が自生していて、ヌルデが一番ウルシ特有のかぶれが弱い様です。葉は奇数羽状複葉で雌雄異株、雌株なら8~9月頃小さな白い花をノリウツギの様に円錐花序に咲きます。

澄川の活動日と、花の時期がなかなか一致しないので開花を見る事が出来ず、雌株か雄株か確認できずにいます。(写真・三橋/文・西野(澄))



新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

かなや やすお
金谷 泰夫さん(45歳)

8月に野幌で活動体験に参加し、次に澄川に初参加した時はいきなりハスクバーナの上下フルコーディネートで参加し、やる気満々で皆ビックリでした。本州での災害ボランティア活動経験も有り、筋トレが趣味！頼もしい新人登場です。

■ おしらせ

大変残念なお知らせです。

さる9月19日未明に当協会の事務局長として長年に亘りご尽力いただいた「市山勝一郎氏」がご逝去されました。(享年76歳) 心よりご冥福をお祈りいたします。

■ 今月の幹事会

出席者(10月6日):大窪・荻田・櫃棒・加藤・清澤・釣井・松藤・三橋・矢澤・矢野

1. 2021年11月、12月スケジュール(11月幹事会11月5日(金))
2. 10月以降のコロナ対策:第五波は沈静化し緊急事態宣言が解除されたが慎重な行動を継続。
3. 2021年9月会計報告と過去の訂正について:了承。
4. 第4回親子森林教室(の報告と第5回活動スケジュール案について:了承。
5. 森林・山林多面交付金事業9月の活動報告:10/24チェンソー安全操作講習に4名参加。
6. 北洋銀行の新口座と今後の運用について:了承。
7. 第2回理事会の日時と議題内容について:了承
8. 現場報告
・9/1,3,29 澄川南小学校校外学習支援:無事に終了。
・9/9 水質調査:今年度の調査終了。
9. 現場対応
・10/7,12 支笏湖水明郷の森植栽
・10/9 澄川キノコ栽培指導:富良野及川さん
・10/15 秋の清掃活動(澄川南小5年生共同作業)
・10/29 澄川南小6年生記念樹植栽
10. その他
・助成申請状況:新規申請中。
・白旗山視察と札幌市協議に向けたスケジュール案と委員会設置について:札幌市協議の中で検討。
・冬季セミナーの開催内容
・今後の活動で脱プラスチック活動を進める。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
9月16日(木)	支笏湖ぶんぶんの森	3	胆振東部森林管理署、北海道新聞との3者協議
9月18日(土)	澄川	-	雨天のため活動中止
9月21,22日	支笏湖烏柵舞の森	-	コロナ対策により中止
9月24日(金)	野幌道有林、澄川	5,11	植樹祭準備、E-1,2,3区下草刈り
9月26日(日)	野幌道有林	-	コロナ対策により10/3に延期
9月29日(水)	澄川	20	澄川南小5年生森の観察、E-1,2,3区下草刈り
10月1日(金)	支笏湖烏柵舞、水明	4,8	下草刈り、笹刈り、植穴マーキング
10月2日(土)	支笏湖烏柵舞	-	コロナ対策により中止
10月3日(日)	野幌道有林	23	第4回親子森林教室(森しり隊植樹祭)
10月6日(水)	ラルズ生活研究センター	10	幹事会
10月7日(木)	支笏湖水明郷の森	15	笹刈り、モニタリング調査、植穴マーキング
10月9日(土)	澄川	19	キノコ栽培指導を受ける、下草刈り、北地区整備
10月12日(火)	支笏湖水明郷の森	15	トドマツ300本補植、下草刈り
10月13日(水)	支笏湖水明郷の森	-	コロナ対策により中止
10月15日(金)	澄川	20	秋の清掃活動(澄川南小5年生65名協働)、親子教室準備